

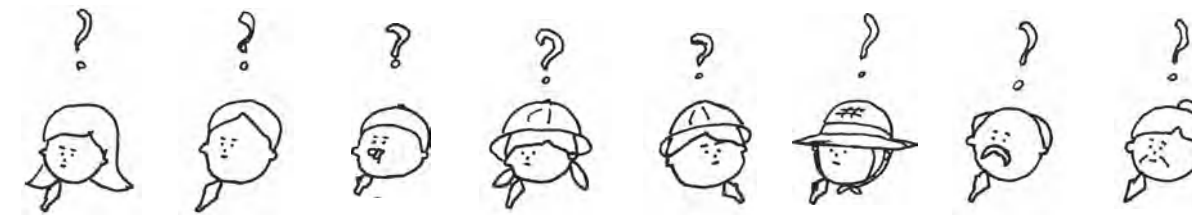
広報
にし
あわくら

NO. 743
APR. 04



特集 村の消防団ってどうなっとん？

村のあれってどうなっとなん？



西栗倉の「今」を紐解く

今月のテーマ

村の消防団ってどうなっとなん？

はじめに

今回の特集では、村の消防団について紹介します。近年、消防団の団員数が減少しているという課題が浮き彫りになっています。特に、村では協力隊制度をはじめとした取り組みによりイターンの移住者が増加しており、消防団活動にも積極的に参加していただいています。一方で火災や災害経験者の多くが退団しており、災害対応や地域のことを詳細に理解している団員が減少しています。今回の特集では、実際に団員にインタビューを行い、村の現状や課題について団長にお話をうかがいました。また、イターンの消防団員にもインタビューをし、移住者として感じた消防団活動についてもご紹介します。

消防団ってなに？

消防団は、消火活動だけでなく、地震や台風などの多数の動員を必要とする大規模災害時の救助救出活動、避難誘導など多方面で地域のくらしを守るという重要な役割を果たしています。平時においても、住民への防火指導、巡回広報などの地域に密着した活動を行っています。

また消防団以外の消防団以外の活動も行われ地域コミュニティの活性化にも大きな役割を果たしています。



解説！



消防団はどのような活動を行っている？

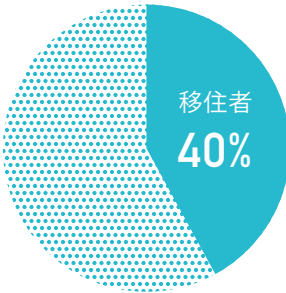
12月	11月	9月	8月	6月	3-4月	2月	1月
年末夜警	規律訓練	火災想定実動訓練 (非常呼集)	8月夏祭り花火大会警備	消防設備点検	春の巡回(※)	岩倉寺会陽警備	出初式
毎月2回 ポンプ、水利点検							

※春の巡回
(概要)春は乾燥と強風により火災が発生しやすい時期です。各地区で火災の危険が無いから巡回して確認します。

村に消防団は何人いる？

1部(大茅・坂根) 21人
2部(塩谷・谷口・猪之部) 26人
3部(影石・引谷・別府) 27人
4部(中土居・下土居・筏津・知社) 24人
本部 11人
合計109人(1月時点)

・移住者の割合は
40%(44/110人)



グラフのとおり、村にはたくさん移住者が消防団員として活動しています。

次のページでは、村の消防団の団長に今の消防団の現状と課題について、また村に移住し消防団として活動している団員にお話を聞きました。



団長、団員が語る、

「今の消防団について」

現、西栗倉村消防団団長の河野玲（こうの あきら）氏に村の消防団の現状と課題、そして課題解決に向けて今、消防団はどのようなことを行っているかお話を聞きました。

■村の消防団の現状と課題について
最近の傾向として、消防団に参加しない人や地域の活動に興味を持たない人が増えていると聞きます。しかし、村に移住してくる人々は積極的に地域の活動に参加していた働き、その中で消防団に入団してくれることには、非常に感謝しています。しかしながら、私たちの村の消防団にはいくつかの課題が存在しています。新しい団員が加入してくる一方で、経験豊富な団員が定年を迎え、退団する人数も増えています。このため、火事や災害を経験した団員の減少や、地域の事情をよく理解している団員の減少が懸念材料となっています。

■課題解決に向けて
このような状況を改善するため、消防団はさまざまな取り組みを行っています。

昨年度では、火事や災害を想定した訓練として、火災想定実動訓練を実施しています。これに加えて、救急訓練も行い、実際に火事や災害が発生した際に備えた準備を進めています。これらの訓練を通じて、団員の技術力や対応力を高めることを目指しています。

また、幹部会においては、先輩団員が後輩団員に消防技術だけでなく、地域に関する様々なノウハウも伝えるよう意識づけを行っています。具体的には、巡回の際に「ここは土砂崩れの危険性がある場所」「ここには高齢者が一人で住んでいる」といった地域の情報を教えることを心掛け、団員同士で地域の理解を深めることを目指しています。このようにして、消防団全体の地域への理解と対応力を高めることで、より安全な地域づくりに貢献していきたいと考えています。

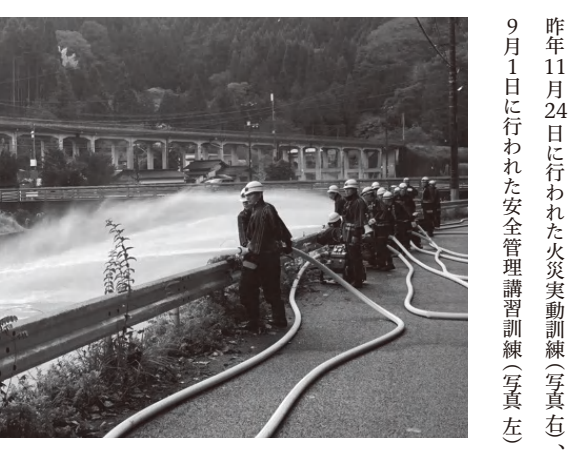
最後に、春の時期は野焼きが行われることが多いため、野焼きをする際には必ず地区の消防団に連絡をしてください。連絡をすることで、消防団が火事の発生に備えるだけでなく、訓練にも繋がります。皆さんの協力が安全な地域づくりに大きく貢献しますので、どうぞよろしく願います。

■団員が感じる、「消防団活動について」
知社地区で消防団員鍋島智弘（なべしま ともひろ）氏に消防団活動についてお話を聞きました。鍋島さんは、現在第4部の部長として活躍しています。

■消防団に入ったきっかけと日々の活動について
消防団に入ったきっかけは、村に移住した際、地区の先輩に勧められたことでした。日々の活動は、器具やポンプ車の点検や、春の巡回期間中に消防車で地区内を巡回することです。消防団に参加することで、出初式などの行事を通じ

て、普段仕事では交流のない他の地区の同世代の人々と繋がることができ、非常に良い経験となっています。

■消防団に入ってみてどのように感じたのか
消防団として活動している中で、私は多くのことを感じました。特に、人口が少なく、消防署がない小さな村で、災害や火災が発生した際に消防団という自治組織があることの重要性を強く実感しています。30年豪雨や中土居の火災など、実際に出勤した経験を通じて、当事者意識を持つことができました。団長が課題として挙げているように、火災や災害の経験者が少なくなっている現状については、私も感じています。そのため、実際に出勤する際には、団員一人ひとりが自主的に動き、指示系統や役割分担について団員同士で考え、準備を整えていくことが必要だと感じています。



「あわむすび」は、西粟倉村の「できること」と「したいこと」をつなぎ、新しい出会いや学びを生み出す仕組みです。

登録内容をもとに、あわくら会館職員がマッチングをサポートします。

皆さんが登録してくださった内容は、図書館内でも閲覧が可能です。

気軽に登録して、新しいつながりを楽しみませんか？
《登録方法》

こちらのQRコードからご登録ください。
図書館の窓口でもご登録可能です。



専用フォームはこちら ▶



図書館の
おやすみ

4 月

28日（月・図書館整理日）

29日（火・祝日）

ご利用案内

あわくら会館 開館時間 8:30 ~ 22:00

図書館の休館日：祝祭日、毎月最終月曜、年末年始

あわくら図書館 開館時間 10:00 ~ 18:00

図 書 館 の 新 刊 案 内

・ 一般書

『なぜあの商品、
サービスは売れたのか？』
木下 勝寿／著 実業之日本社



インターネット発のヒット
商品を生み出した 16 人の経営
者にインタビューし、成功の
思考法と再現性のあるノウハ
ウを徹底解説します。

・ 一般書

『この関係には名前がない』
ねじまき ねずみ／著 スターツ出版



友達か、恋人か、夫婦か、そ
れとも…。8組の男女が生きる、
結婚や恋愛にとらわれない、「名
前のない関係」を描いた作品集。

・ 一般書

『これから首都直下、南海トラフ
巨大地震を経験する人たちへ』
三浦 房紀／著 KADOKAWA



「首都直下地震」や「南海ト
ラフ地震」の被害予測と、国や
自治体の対策、個人が取るべき
防災対策を解説します。

・ 児童書

『ゆめがきました』
三好 愛／作 ミシマ社



夢を追いかける少女の成長を
描いた心温まる物語。夢と現実の
間で揺れる気持ちを丁寧に描き、
読者に希望を届けます。

あわくら会館で
行われる
「生きるを楽しむ」
イベント・活動



あつまる、つながる、やってみる、

あわくら会館



仕事に役立つ！初めての プログラミング体験を開催

2月22日（土）、村民講師の山崎誠人
さんを迎え、社会人向けワークショップ
を開催しました。AIを使ってゲー
グルフォームの自動縮切機能を作る内
容で、初心者から経験者まで参加。全員
が機能を完成させ、「プログラミングの
ハードルが下がった」と好評でした。今
後もお仕事に役立つ講座を開催予定で
すので、ぜひご参加ください！



色が生み出すアート体験！ フルイドアートワークショップ開催

2月16日（日）、村民講師の具志堅詩
織さんを迎え、「フルイドアートを制
作してみよう」を開催しました。フル
イドアートとは絵の具と糊を混ぜて
作るアート技法で、参加者は色が混ざ
り合う様子を楽しみながら、自分だけ
のオリジナル作品を制作しました。完
成した作品は個性豊かで、どれも素敵
な仕上がりとなりました。



あわくら会館で「生きるを楽しむ」様子を紹介



◀ note



◀ Instagram
イベント情報



◀ Facebook



保育園

『そら組さん、新たな世界へ』

10名の子どもたちが卒園していき
ました。

数回にわたり幼稚園で遊ばせても
らっていたそら組さんたち、(写真は
その時の様子です)。初めは知らない
場所や人にドキドキしていましたが、
少しずつ慣れていきました。お兄ちゃ
んやお姉ちゃんにもやさしくしても
らってうれしかったね。それぞれの新
しい環境で、みんなが生き生きと楽
しめますように！



幼稚園

『イチゴおいしかったよ！』

今年度もB A S E 1 0 1 %さん
に行かせていただきイチゴ狩りを楽し
みました。雪が降った後でしたが、ハ
ウスの中は暖かく、甘い匂いに包まれ
ていました。

最初にイチゴの摘み方を教えていた
だき、子どもたちは早速甘いイチゴを摘
んでは食べ、摘んでは食べと味わって
いました。イチゴが苦手な子どもも、に
やかな顔で食べていました。B A S E
のイチゴは特別！なようです。



小学校

感謝の気持ちを込めて
6年生を送る会

3月6日(木)、校舎内多目的ホールにて6年生を送る会を行いました。小学校のリーダーとしてみんなを引っばってくれた、6年生への感謝の気持ちを込めて、各学年から出し物をしたり、感謝の言葉を書いた「ありがとう色紙」と学年ごとに手作りのプレゼントを渡しました。



中学校

1年間のしめくくり
立志式・SDGs発表会

1年間積み上げてきたキャリア学習や探究学習のまとめとして、2年生は立志式に、1年生はSDGs発表会に参加しました。立志式では「なりたい大人像」について真剣に考え、代表者が自分の考えを発表しました。SDGs発表会では役場の方や小学生のみなさんに対して、自分たちが考えた取組を提案しました。

お子さんの予防接種について

お子様を感染症から予防したり、かかったときの重症化を防ぐために、予防接種期間等を確認して、忘れずに予防接種を受けましょう。

〈予防接種の流れ〉

1. 母子手帳で、接種時期・接種間隔に当てはまる予防接種があるか確認しましょう。

西粟倉村ホームページにも「接種できる医療機関」「予防接種の種類と接種方法」について掲載しています。

2. 医療機関へ予約しましょう。

予防接種を希望する医療機関へ直接電話等で問い合わせ、予約しましょう。

（医療機関により接種できないものもあります。）

3. 予防接種を受けましょう。

○ 母子手帳アプリ「あわくら子育て応援アプリ」で、予防接種の

スケジュール管理と予診票の記入・提出ができます！

母子手帳アプリ「あわくら子育て応援アプリ」で、予防接種の

スケジュール管理、アプリ上で予防接種の予診票の入力と医療機関への提出※1）が可能です。アプリでは、兄弟姉妹がいる場合もアプリ1つで複数のお子さまの予診票が作成でき、接種した予防接種は自動でアプリに反映※2）されます。

〈利用できる医療機関〉
・西粟倉村診療所
（令和7年4月1日時点）

※1 お子さん1人ずつ専用のQRコードが必要です。

※2 予防接種データの反映は月ごとに行うため、接種実施から翌月末までには反映されます。

☆まだアプリをダウンロードされていない方は、まず登録を！
アプリストアで「母子モ」と検索するか、お使いのスマートフォンで左下部のQRコードを読み取り、ダウンロードしてください。

初期登録したあと、お子さん専用のQRコードの読み取りをした際には、自動反映された予防接種記録を母子手帳と照らし合わせてご確認ください。

「接種可能な予防接種がわからない」、「接種情報が間違っている」など、ご不明点などございましたら保健福祉課までご連絡ください。



令和7年度の総合健診のお知らせ

○ 総合健診（午前中）

5月20日（火）、21日（水）、
22日（木）、23日（金）

○ 婦人科検診

5月15日（木）午後、
16日（金）午前

基本健診 …… 30～39歳

加入保険にかかわらず対象

乳がん検診 …… 40歳以上

特定健診 …… 40～74歳

子宮がん検診 …… 20歳以上

高齢者健診 …… 75歳以上

各種がん検診 …… 30歳以上

国保加入者対象

※詳しい内容は、広報5月号に掲載します。



命を守る、大切な「けんしん」を1年に1度は必ず受けましょう！

健幸フェス

健康にしあわくら21計画の取組の一環として、3月2日（日）、あわくら会館にて「健幸フェス」を開催しました。

「健康講演会」横山慶一先生（NPO法人元氣アップAGEプロジェクト理事長）は京都府で健康サポーターと多くの健康教室を運営されていて「自分の健康は自分で育てるもの」「健康サポーターで、人の健康づくりも応援」などのお話をいただきました。

「健康タウン構想ラジオ体操講習会」では、NPO法人全国ラジオ体操連盟指導委員の桜田敬子先生と押味愛里沙先生から、椅子に座ったの体操の体験、「身体はどこをどう使うか」の意識が効果を高めると教えていただきました。



主催：保健福祉課、西粟倉村運動を考える会（スポーツ推進委員会、教育委員会）
支援：一般財団法人 簡易保険加入者協会中国地方本部

「ななそじの会」 第2の人生スタート事業

保健福祉課では、70歳は高齢者の入り口、10年20年後を見据え、自分自身の健康づくりの第一歩のきっかけづくりを目的とした「ななそじの会」を2月28日（金）にあわくら会館で開催しました。

当日は、石尾運動指導士（岡山スポーツクラブ）と兼本歯科衛生士（岡山県歯科衛生士会）から、人生100歳時代到来による、フレイル・ロコモ・サルコペニアについてや1日5分でできる具体的な運動方法について講話や体験、いつまでも美味しいものを食べ続けるために必要なことについての講話や実習をおこないました。なお、70歳で特に効果のある筋トレは①スクワット ②片足立ち ③かかとおとしなので実践してみましよう。



保健福祉課

西栗倉駅に新しい副駅名がつけました

2月25日（火）、智頭急行の開業30周年記念事業「駅名ネーミングライツ事業」に伴い、西栗倉駅の新たな副駅名の除幕式が、あわくら会館百森ひろばで行われました。

この事業は、智頭急行線の魅力向上を目的とし、企業や団体が駅に副駅名を命名することで、スポンサーの認知度向上や地域の活性化を図るものです。

今回、西栗倉駅には、東京都渋谷区に本社を置くIT企業「株式会社SAKURUG」によって、副駅名「さくらぐ駅」が採用されました。同社は、昨年開催された「森の芸術祭」をきっかけに岡山県北部および西栗倉村に関心を寄せ、今回のスポンサー契約に至りました。

除幕式には、株式会社SAKURUG代表取締役の遠藤様、智頭急行関係者、そして村長が出席



総務企画課

TAKIBI事業に取り組む

村内事業者募集のお知らせ

「願い調査」の分析と、これまでの「TAKIBIキャンプ」での議論から設定した事業テーマについて、村外のプロデューサーの支援を受けつつ、売上1億円以上の新たなビジネスの開発に取り組みむ村内の事業者を募集します。

【事業テーマ】 観光施設の活用／高齢者ビジネス／再生可能エネルギー

医療・介護の充実／生物多様性の回復／住宅環境の改善・充実
新たな森林価値のビジネス化／農業の高収益化

その他村の価値のビジネス化
【応募資格】 村内に事業所があり、これらのテーマに関する新規事業の構想を持つ事業者

【応募書類】 役場ホームページで公開

【応募方法】 西栗倉村役場産業観光課に応募書類を提出したのち審査会に参加

【応募〆切】 令和7年4月30日（水）

【審査会】 令和7年5月14日（水）

詳しくは役場ホームページをご確認ください。

産業観光課

第4回生涯スポーツ検討委員会

第4回生涯スポーツ検討委員会では、これまでの議論や調査、関連計画をもとに作成した西栗倉村生涯スポーツ推進計画（案）の内容を確認し、基本目標や具体的な取り組み案について話し合いました。

計画の実現に向けては、地域の方々の協力が重要であるという意見が出ました。

さらに、現在活動している団体同士が連携し、若年層にはSNS、高齢層には紙媒体や説明会など、世代に応じた情報発信の工夫が必要とともに、「誰が具体的に取り組みの責任を担うのか」を明確にすることが重要であり、今後の役割分担の整理が求められました。

県のアドバイザーからは、「計画は作って終わりではなく、10年・20年先を見据えて取り組み

続けることが大切」とのアドバイスがありました。

今年度からは、西栗倉村生涯スポーツ推進計画に基づき、具体的な取り組みを進めながら、村民の皆さんがスポーツを楽しみ、健康で豊かな生活を送れる環境づくりに努めてまいります。



教育委員会

特色ある教育通信

学んだことを伝えよう！いちごの先生

「味の違いを伝えたいな！」
授業で体験したことを思い出す子どもたち。学んできた「いちご」の魅力を伝えるための原稿を作っています。

今回の『あわくらみらいアカデミー』（放課後等子どもたちのやってみたいをテーマに地域をフィールドとした事業）はBASE101%のいちごを使った「いちご大福づくり」。学校の総合学習でいちごについて学んできた小学3年生に「いちごの先生」を募集したところ、5人が手を挙げてくれました。今回はそのリハーサル这回。

「はちの種類はミツバチだったよ」「あきひめ」っていういちごもあったんじゃない？」と、これまでの学習で学んだこ

とを思い出しながら発表の準備を進めました。「先生」の本番は一週間後。ドキドキとワクワクな様子の子どもたちでした。学校で学んだことを地域の場で活かすことで、子どもたちの自信になり、より学びが深まっていく機会になりました。



教育コーディネーター

今井 春菜

むらまるごと通信 vol.40

むらまるごと研究所では関係人口プラットフォーム構築事業において、地方創生や地域の活性化、地域での研究活動などに関心のある企業や研究者と西栗倉との継続的な関係を構築することも役割として担っています。

その一環として、10月に台湾で開催されたフォーラムを機に、台湾で地方創生に取り組む企業「Jabez creative inc.」や台東県政府の方々との交流を始めました。2月にはそのうち18名が台湾から西栗倉へ来村し、各事業者の取り組みや施設などの視察・意見交換会を開催し、現在は、今後国をまたいでの情報発信・人材交流を行うことについて協議をしています。



西栗倉むらまるごと研究所
(090・4109・6500)

引き続きむらまる研では、異なる地域や人が交わり協業していくことで、それぞれの地域活性化に寄与する活動を生み出していきたいと考えています。

あわくら大学2月講座

小学校5年生による学習発表・

「お大師さんとかんげんさん」の講義

あわくら大学2月講座を、2部構成により2月21日（金）に開催しました。第1部は、西栗倉小学校5年生の学習発表「森と川と海のつながりについて」と、英語劇「Seven Brothers」そのあとはあわくら大学生と児童がグループになって交流を行いました。

発表では、環境汚染の話題や海事研修の際に海のゴミを目にしたことをきっかけに村内の川の調査を行い、きれいだと思っていた村の川にもたくさんゴミがあったこと、このままでは汚くなるだけでなく生き物も減ってしまう危機感を抱いたことなどの報告がありました。グループでの交流では、昔の川はもっと深かった・飛び込んだり魚を

取ったりしていた・生ごみを捨てることもあったなどといった現地調査だけでは見えなかった意外な一面も知ることができたようです。

第2部では鳴門教育大学田中准教授による「お大師さんとかんげんさん」の講義でした。真言宗の宗祖空海が弘法大師となることを奏請した観賢僧正について



教育委員会

第54話SDGs 未来都市にしあわくら

ものづくり×スポーツによるタッセルづくり

地域におけるSDGsの取り組みの一つとして、3月2日（日）に津山市で開催されたプロバスケットボールチーム・トライフープ岡山のホームゲーム会場で、廃棄される予定だったバスケットボールを活用したタッセル（布や革などのお房状に束ねたかざり）づくりワークショップを実施しました。この企画は、生涯スポーツコーディネーター 清家さん、村内企業 シブヤカバンの渋谷さんの協力により実現。不要になったボールを新たな形で生まれ変わらせるこの活動は、「つくる責任つかう責任（SDGs12）」を考える機会となりました。

スポーツとSDGsの関わりは競技や健康促進だけでなく、こうした資源循環やものづくりの視点からも展開でき



総務企画課

教育長就任あいさつ

この度、関教育長の退任に伴い、青木村長よりご指名を受け、西栗倉村議会令和7年3月会議におきまして選任の同意をいただき、4月1に付けで教育長に就任いたしました。

改めてその職責の重さ、大きさに身の引き締まる思いです。もとより微力ではございますが、42年間の教育現場、教育行政の経験や知識を生かすとともに3期9年間勤められました関教育長の教育への熱い思いを受け継ぎながらさらに発展させていきたいと思っています。

西栗倉村の教育大綱では「生きるを楽しむ、百年の森林とともに未来をつくる」ことが掲げられています。「生きるを楽しむ」こと、の中心は「学びを楽しむ」ことであると思っています。

幼児教育・学校教育において、一人一人が大事にされ認め合

う人間関係の中で、子ども達が安心して育っていく教育環境づくりに力を注ぎたいと思います。元気に笑顔で友達と関わり合いながら一生懸命に学ぶ姿が西栗倉の宝であると感じます。

現在、西栗倉村はＩターンの方が、多く移住をしてくださる村となっております。教育においても選んでいただけるように質の高い学びを創っていきたいと思います。青木村長や議会の皆様をはじめ村民の皆様には、尚一層のご指導・ご支援・ご協力をいただきますよう、お願いを申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



教育長 河野 雅彦

西栗倉村役場 人事異動 (令和7年4月1日付)

		配属先			
		新		旧	
昇任	氏名				
	春名 一樹	産業観光課	課長	保健福祉課	課長補佐
	梶並 壘土	総務企画課	主幹	総務企画課	主任
異動	大室 裕史	総務企画課	主任	総務企画課	主事
	萩原 勇一	建設課	課長	産業観光課	課長
	佐藤 理	議会事務局長		建設課	課長
	笠岡 景子	保健福祉課	主幹	教育委員会	主幹
	向原 伸江	出納室	主任	保健福祉課	主任
	本田 佳織	教育委員会	主事	産業観光課	主事
	都築 初乃	保健福祉課	主事	出納室	主事
	北村 朋也	産業観光課	主事	教育委員会	主事
再任用	神原 徹	総務企画課 主幹			
退職者		保健福祉課	主幹	※ 栗屋 聡	
		産業観光課	主任	※ 白旗 佳三	
		総務企画課	主任	※ 白岩 将伍	
		診療所	看護師	白旗 歩実	

※の職員については4月1日以降も会計年度職員として勤務します。

消防職員のサングラス着用 についてのお知らせ

消防業務の安全対策と、隊員の眼の健康を守るため業務中に職員がサングラスを着用しますが、これまでと変わらず、住民に寄り添った消防活動を展開してまいりますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

サングラスを着用する場合

○日差しが強い時に消防車や救急車を運転するとき

○ドローンを操作するとき



2025年3月24日から パスポートが変わりました。

安全面では偽造・変造対策が大幅に強化され、顔写真ページがプラスチック製になります。

(パスポートの偽造・変造は世界的に問題になっています。国際民間航空機関の勧告などを踏まえ、偽造・変造対策を強化した「2025年旅券」を紙幣も印刷している国立印刷局で作成します)。便利さは大幅に良くなります。パスポートを新規に申請する時にも、マイナポータル経由でオンライン申請ができます。

オンライン申請なら、パスポート窓口に行くのは受取り時の1回だけです。オンライン上で戸籍情報がシステム連携されるので、別途戸籍謄本の原本を提出する必要がなくなります。オンライン申請の方が手数料が安くなり、戸籍謄本の取得手数料もかかりません。

10年用パスポート申請手数料(現行16,000円)オンライン申請:15,900円窓口申請:16,300円となります。

※注意点 3月24日以降は、日本国内の国立印刷局でパスポートを作成するため、申請から交付まで2週間程度かかります。従来よりも長くなることとなるので、有効期間が1年未満になったら、速やかにパスポートの切替申請をしてください。

令和7年度 地域おこし協力隊 受入れ事業者研修会実施のお知らせ

令和7年度に地域おこし協力隊員を受け入れ、活用して事業を実施する事業者向けの研修を開催いたします。令和7年度中に協力隊員の受け入れを検討されている事業者の皆様は、本研修への参加が協力隊員の任用に必須となりますので、必ずご出席ください。

また、現在協力隊員を受け入れている事業者の皆様も、必ずご出席くださいますようお願いいたします。

さらに、事業者ではない村民の皆様も本研修に参加可能ですので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

日時：5月8日(木)

18時～19時30分

場所：あわくら会館

百森ひろば



総務企画課

おしえて年金

会社を退職(失業)された方へ
国民年金への変更手続きは
お済みですか？

国民年金の届出が必要です！

20歳以上60歳未満の方は、国民年金への加入が法律で義務付けられています。勤務先を退職(失業)されたときは、厚生年金保険から国民年金への変更の届出が必要です。

＊勤務先を退職(失業)された方に扶養されていた配偶者も、国民年金への変更の届出が必要です。
＊退職(失業)して会社員・公務員など厚生年金保険の被保険者である配偶者に扶養される方は、配偶者の勤務先への届出が必要です。

●手続きについて

役場保健福祉課の窓口で手続きしてください。

●手続きに必要なもの

日本年金機構が送付した基礎年金番号がわかる書類、退職日または離職日の分かる書類

●保険料額

国民年金の保険料は毎年度変わります。

【令和7年度の保険料】

17,510円

★詳しくは、津山年金事務所

(電話0868・31・2360)

までお問い合わせください

1歳お誕生日おめでとう！

佐々木花音(ささき かのん)
令和6年3月19日

【興味のあるもの】大好きなパパ
♡とアンパンマン

【メッセージ】幸せになる為に生まれてきたあなたの人生が彩り豊かなものとなりますように

【別府住宅】

【父】晋

【母】亜希子

【好きな食べ物】パパが働いてる

BASE101%のイチゴ



俳句

あわくら俳句教室 令和七年二月十五日
選者 乾 北星

兼題

立春の木の香漂ふ御神殿

小坂康子

薄氷

春浅し野に人影の疎なる

小椋仁美

春浅し

大観の展示の廊下冬うらら

春名知子

薄氷

薄氷の速き流れの吉野川

乾 沙織

薄氷

窓際の日差やはらか春隣

小椋仁美

薄氷

薄氷の下に光のそつと住む

春名知子

薄氷

葉牡丹の渦を流るる雨雫

乾 沙織

薄氷

薄氷や町家に続く格子窓

乾 沙織

薄氷

空砲をや山に捧げて猥期果つ

乾 沙織

薄氷

〇毎月第三土曜日の午後一時三〇分からあわくら会館で活動して

乾 沙織

薄氷

います。丁寧に指導しますので、初心者の方もぜひご参加ください。

乾 沙織

川柳

栗の実川柳社 令和七年三月句会から

集まる

集まれば昔の話に花が咲き

春名佳世子

梅

集まればニュースが聞ける顔も見え

清水 早苗

うぐいす

紅梅の一輪ぎしに微笑まし

建元 照子

のんびり

開花予想雪の里から遠く聞く

井上 吉男

自由吟

うら山にやって来るのが待ちどうし

建元 照子

自由吟

梅の花相棒ウグイス連れて来る

熊見まちこ

自由吟

日なたばこ欠伸している至福時

井上 吉男

自由吟

雪解けのせせらぎ聞いてひなたぼこ

清水 早苗

自由吟

好き嫌いせずに食べてよ物価高

春名佳世子

自由吟

受験生産土神に頼みこむ

熊見まちこ

4/11	金		かん
12	土		
13	日		
14	月		可 燃
15	火		
16	水		
17	木		可 燃
18	金		資 源
19	土		
20	日		
21	月		可 燃
22	火		
23	水		
24	木		可 燃
25	金		びん
26	土		
27	日		
28	月		可 燃
29	火		
30	水		
5/1	木		可 燃
2	金		資 源
3	土		
4	日		
5	月		可 燃
6	火		古 紙
7	水		
8	木	企業研修型地域おこし協力隊受入れ事業者研修会 18：30～20：00 百森ひろば	可 燃
9	金		かん
10	土		
11	日		

人の動き		
令和6年2月1日現在の動き		2月中の移動
● 人口	1,325 人（ 1 ）	出生 1 人
● 世帯数	612 人（ 2 ）	死亡 1 人
● 男	634 人（ 0 ）	転入 1 人
● 女	691 人（ 1 ）	転出 0 人

■お誕生おめでとう

いけの いよ
池野 旅 ちゃん（別府住宅）お父さん 池野 修平
2月15日生まれ お母さん 麻子

■亡くなられた方

福島 省三 様 （中土居） 2月22日 71歳
小林 繁治 様 （猪之部） 3月16日 80歳
河野 さちこ 様 （猪之部） 3月26日 97歳



広報についてのご意見・感想は掲示板、
総務企画課までお問い合わせください。

◀ 村民掲示板ページQRコード

地域福祉推進のために

社協だより

西栗小学校4年生
福祉学習をおこないました

2月27日（木）、西栗倉小学校4年生10名が福祉について理解を広げ深める学習をしました。

今回は、視覚障害者で岡山市在住の鈴木鈴子さんと盲導犬をお招きして福祉体験を行いました。

事前に、視覚障害者についての自分のイメージを想像してもらい、「自分の行きたいところにいけない」「不安で、怖い」といったイメージを持っていました。

そして、実際に当日アイマスクをして、目が見えない体験をしてもらいました。

後半は、鈴木さんの話を聞きました。今、生活をしていて、「目が見えなくてもあまり困らないよ。今日も、電車に乗って西栗倉まで来ました。困った時には、周りの人が助けてくれます。みんなも白杖の



5円？50円？
分かる？



階段やでこぼこ道を
伝えるのは難しいな
声掛け大切だな～



折り紙
むずかしいなあ



左にコーンがあるよ
気を付けて！



杖を持っている人、盲導犬を連れている人、それ以外の人でも、困っている様子だったら声をかけてあげてください。その人は声をかけられてうれしいと思います。」とされていました。

自分たちに何ができるのかを考えてもらい、クラスのほとんどのみんなが、「助け合う」「声をかける」「お手伝いをする」といった感想を書いています。

4年生のみなさんの“誰かが困っていたら助ける”という思いやりや優しさが広がると嬉しいです！



説明用の点字資料

事務局長の就退任あいさつ

（就任あいさつ） 事務局長 山根 順二

この度、新しく事務局長となりました山根です。長年にわたり事務局長としてご尽力いただきました林正之氏の後任として4月1日から就任いたしました。今後も、地域福祉活動を推進して事業に取り組んでまいります。

より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のごあいさつと致します。

（退任のあいさつ） 林 正之

私事ではございますが、3月31日をもって西栗倉村社会福祉協議会事務局長を退任いたしました。平成27年に拝命以来、村民のみなさま方に支えられ、助けていただき、何とか任務を務める事ができました。みなさまに心より感謝・御礼を申し上げます。超少子・高齢化の時代に、すべての住民が交流を深め絆を構築し、お互いに助け合いながら「住んでいて良かった西栗倉」の更なる発展を願って退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



村の風景
3月は旅立ちの時。
凛々しく成長した姿
に、喜びと少しだけ
寂しさも感じます。
ご卒業おめでとうご
ざいます。



西栗倉村役場
電話番号

総務企画課
出納室
保健福祉課
産業観光課

0868-79-2111
0868-79-2113
0868-79-2233
0868-79-2230

建設課
教育委員会
診療所
FAX

0868-79-2231
0868-79-2216
0868-79-2220
0868-79-2125

各記事の内容についてのご意見・ご質問は、各課
までお問合せください。

広 報
令和7年4月号
No. 743

発行 〒707-0503 岡山県英田郡西栗倉村影石 33-1
西栗倉村役場 総務企画課
TEL 0868-79-2111 FAX 0868-79-2125
印刷(資) 谷本弘輝堂



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と
森林の再生に取り組む岡山県西栗倉村との連携
により実現した「森の町内会一問伐に寄与する
紙一」を使用しています